

SSH物理（6月16日）サイエンス・ダイアログ事業（都立大学）の実施

「The formula that drew me into mathematics」

独立行政法人日本学術振興会サイエンス・ダイアログ事業として、外国人研究者を講師として高等学校に派遣していただき、自身の研究や出身国に関する講義を英語で行うことで、生徒の学術研究への関心及び学術研究の国際性への理解を深めることを目的として、東京都立大学・大学院理学研究科 数物系科学のDr. Gergo NEMES (Mr.)氏を講師に迎え、授業を行っていただきました。

SSH物理の1、2年生が講義を受けました。「The formula that drew me into mathematics」というテーマで易しい英語でとても丁寧に分かりやすく講義をして頂きました。自己紹介を兼ねて自国のハンガリーについて色々とお話してくれました。ガウスが7歳の時、算数の授業で教師が出した「1から100までの数字すべてを足しなさい」という問題にあつという間に答えてしまったという有名なエピソードを引用しながら、1から100までの数字すべてを掛け合わせたらどうなる？という階乗の話に発展させて、生徒の興味を引いていました。最終的にはNまでの数字を用いて近似や不等式を使い、Nを無限大に持っていく時ネイピア数が出てくるという話をしてくれて、生徒がとても興味と驚きを持った貴重な講義でした。今後、数学を学ぶ時のいい刺激になりました。本当にどうもありがとうございました。



母国ハンガリーでの経験や研究者になった経緯を話してくれました。



グループワークの後、代表者が英語で質問をしました。